

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）
 A：十分達成できている
 B：おおむね達成できている
 C：やや不十分である
 D：不十分である

学校名	みやき町立三根東小学校
1 前年度 評価結果の概要	令和2年度の評価結果については、主に以下のような成果や課題があった。 ○コロナ禍で成果目標についての具体的な取組が実施できない項目もあったが、取り組める内容については、きちんと全職員で行ってきた。そのため、学校関係者評価においては、マイナスな評価はほとんどなかった。これからは職員の協働体制で、「チーム東小」として、教育活動を進めていく。 ○「光るところ見つけカード」は、児童間だけでなく、職員や保護者からもよいところを見つけてもらいカードに書かれることで、自己肯定感の意識の高揚につながった。 ●次年度は、ゲームなどをして、夜遅くまで起きている就寝時刻のことが話題になったので、SNSの使い方も含め、保護者に意識付けを図る取組を行いたい。 ●開発的生徒指導の理念を全職員が理解し、委員会活動や係活動などにおいて、「出番・役割・承認」取組の充実を図り、児童一人一人の自己肯定感を高め、主体的・実践的な態度を育成する。
2 学校教育目標	キャッチフレーズ 「夢にチャレンジ東っ子」 学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔あふれる」児童の育成 ～ 自分大すぎ、友だち大すぎ、学校大すぎな子供 ～
3 本年度の重点目標	1 心の安心を育む学校風土の確立と児童の自己肯定感の向上(自分づくり) 2 豊かな体験活動の充実と地域を生かした教育活動の推進(仲間づくり) 3 確実な学力向上と主体的・対話的で深い学びの推進(学びづくり)

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でのマイプランの共有及び校内研修等による取組を促進する。							学びづくり部
	○児童の基礎学力の定着を図る。	○指導法改善を行いつつ、個に応じた指導に努め、授業の中での話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う児童の割合が80%以上 ○「授業がわかる」児童の割合が85%以上	・色カードで自分の立場を明確にし、話し合いに臨む。 ・算数音読テストに定期的に取り組む。							学びづくり部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校生活アンケートで、豊かな心を育む項目において、肯定的な回答をした児童の割合が70%以上	・「人権集会」や「命を考える日」を実施し、なかよしタイムで異学年交流体験をする。 ・道徳科の授業づくり等に関する校内研修や、「ふれあい道徳」を実施する。 ・保護者や地域の方と連携したふれあい体験を実施する。							自分づくり部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について組織的対応ができていると回答した教職員の割合が70%以上。	・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルを作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間3回以上行う。 ・なかよしアンケートを年間6回行う。							自分づくり部
	○児童の自己肯定感の向上	○学校生活アンケートで自分のよいところがあると 思う子どもの割合が60%以上	・なかよしアンケートに自己肯定感に関わる項目を7月、11月に入れて実施する。 ・年8回の「心タイム」による光るところ見つけ活動や教職員・保護者による承認活動に取り組む。							自分づくり部 仲間づくり部
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「早ね、早起き、朝ごはん」の啓発を行う。 ○むし歯保有率を20%以下にする。 ○新型コロナウイルス等の感染予防習慣を身に付ける。80%以上の児童が感染対策についての取り組みが理解できるようにする。	・「早ね、早起き、朝ごはん」の啓発を年2回以上行う。 ・歯みがき指導を実施。 ・感染予防の手洗い指導を実施 ・感染予防を啓発する。							自分づくり部 仲間づくり部
	○「運動習慣の改善」	○目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上取り組む。	・縦割り班で八の字跳びにチャレンジする期間を決めて取り組ませる。 ・学級で種目と目標を決めて、「スポーツチャレンジ」に1回以上参加する。							仲間づくり部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	○毎月の時間外勤務時間45時間以内の割合を90%以上にする。 ○勤務時間を意識し、計画的効率的に職務遂行できた職員の割合を70%以上にする。	・職員会議の内容精選、校務分掌の平準化の徹底、通知表の2期制など効率的に職務を遂行し、全職員で協働的に教育活動を行い、時間外勤務時間の削減に取り組む。							校長、教頭、各担任
	○教職員の働き方改革の推進	○業務改善につながるアイデアを職員で検討し、チーム力の向上を目指す。	・定期的な指導部会において、校務や校内研究内容等について、効率的、協働的に取り組む内容を検討し合い、チーム学校で教育活動を進める。							校長、教頭、教務、各担任

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
◎志を高める教育の推進	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	○自分で頑張ることを決め、粘り強く、取り組むことができていると答える児童が85%以上	・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設け、キャリアパスポートにまとめる。 ・「いのちと夢のコンサート」で命や夢に関する学級での取組を実施したり、6年児童に「夢の教室」の実践を行ったりして、夢をもつこと、それに向けて努力することの大切さを理解させる。							仲間づくり部 各担任
○開かれた学校づくり	地域連携、幼保小中連携の推進	○三根校区の幼保、三根西小、三根中との交流行事を通して、児童、教職員の「交流してよかった」割合が前年度比10%増を目指す。	・1つの行事の案内を複数の場面でを行い、期日や内容の事前周知を図る。 ・学校ホームページの更新を定期的に行い、教育活動の様子を随時伝える。 ・三根中学校生徒のあいさつ運動や「ようこそ先輩」などの取組を行い、実践を通して、児童・生徒の自己肯定感を上げる。							教頭、教務、仲間づくり部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--